

## 2026年度 前期教育計画

面接指導施設名	科学技術学園高等学校			
教科	科目	単位数	履修上の留意点	担当者
公民科	政治・経済	2	特になし	本校教員・スクーリング講師
指導目標				
社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の政治、経済、国際関係の動向や本質に関わる諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目標とする。				
教科書名	政治・経済	副教材等	本校作成学習書	
面接指導 (スクーリング)	全実施時間数 6 時間	レポート添削指導	全 6 回	
	標準面接回数 2 時間	メディア減免時数	1 時間	
定期試験	あり	年間(学期) 1 回	評価割合	定期試験 70% 添削課題 30%
評定算出方法	評点が100～85点は5、84～70点は4、69～50点は3、49～35点は2、34～0点は1			

レポート添削課題		
回数	学習内容	提出期限
1	民主政治の基本原則/日本国憲法の原理/国会と立法/内閣と行政	5月10日
2	裁判所と司法/地方自治/現代政治の特質と課題/ 現代の資本主義経済	5月25日
3	経済主体と経済の循環/生産の仕組みと企業/市場経済 の機能と限界①②/国民所得と経済成長/金融の仕組みと機能	6月10日
4	日本経済の発展と現状/福祉社会と日本経済の課題/国際政治の仕組み	6月25日
5	戦後国際関係の展開と日本/冷戦後の国際関係と日本/地域主義の動き/軍縮の 動きと課題/紛争・難民・テロリズム/国際社会における日本の役割/貿易と国際収支	7月10日
6	戦後国際経済体制の展開/発展途上国の経済/世界経済 の現状と課題/現代日本の諸課題/国際社会の諸課題	7月25日

面接指導(スクーリング)		
時間数	学習内容	実施日
1	経済主体と経済の循環/生産の仕組みと企業/市場経済 の機能と限界①②/国民所得と経済成長/金融の仕組みと機能	7月28日
2	戦後国際関係の展開と日本/冷戦後の国際関係と日本/地域主義の動き/軍縮の 動きと課題/紛争・難民・テロリズム/国際社会における日本の役割/貿易と国際収支	8月1日

メディア減免 視聴メディアおよび視聴項目		
配信回数	学習内容	視聴時期の目安
1	01.民主政治の基本原則	～5月10日
2	02.日本国憲法の基本原則	～5月25日
3	03.現代経済のしくみ	～6月10日
4	04.日本経済の発展と現状	～6月25日
5	05.複雑化する国際政治と日本	～7月10日
6	06.国民経済と国際経済	～7月25日

試験		
試験種別	試験範囲	試験日
本試験	レポート添削課題 第1回目～第6回目	8/19 20
追試験	レポート添削課題 第1回目～第6回目	8/25 26